



## 研究検査

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
 この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますので、ご案内申し上げます。  
 謹白



### 項目名

● FLT3/ITD 変異解析

(依頼コード No. 4219)

受託開始日 2012年12月3日(月) 受付分より

FLT3 (FMS-like tyrosine kinase 3) は、主に未熟な骨髄細胞の表面に発現している受容体型チロシンキナーゼで、初期造血制御において重要な役割を担っていると考えられています。急性骨髄性白血病 (AML) の約三分の一の症例において、活性型変異である FLT3 遺伝子の膜近傍領域の Internal Tandem Duplication (遺伝子塩基配列の一部が重複する変異：ITD 変異) が発生しており、この変異を有する症例は白血球数が高く、その生命予後が不良であることが知られています。WHO 分類においても、AML の診断・治療上スクリーニングすべき遺伝子変異の一つとして記載されています。現在、この FLT3/ITD 変異を持つ難治性の急性骨髄性白血病患者を対象とした、新たな分子標的治療薬の開発が世界中で活発に行われています。FLT3/ITD 変異の有無を検査することにより、投薬適応性を確認した上での投与が可能になり、的確な治療につながるものと期待されています。

### 受託要領

依頼コード No.	4219
検体必要量	血液：2.0mL、骨髄液：0.5 mL
容器	血液：B-30、骨髄液：O-97
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	4～14日
検査方法	PCR 法
参考基準値	(-)
報告形式	変異を認める：(+) 変異を認めない：(-)
検査実施料/判断料	未収載

本検査は、タカラバイオ株式会社の特許ライセンス(日本国特許第3607704号)を受けて実施しております。

【測定法の参考文献】 Kiyoi, H. et al.: Leukemia 11, 1447-1452, 1997.